

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 3年次生 井上采音

1. はじめに

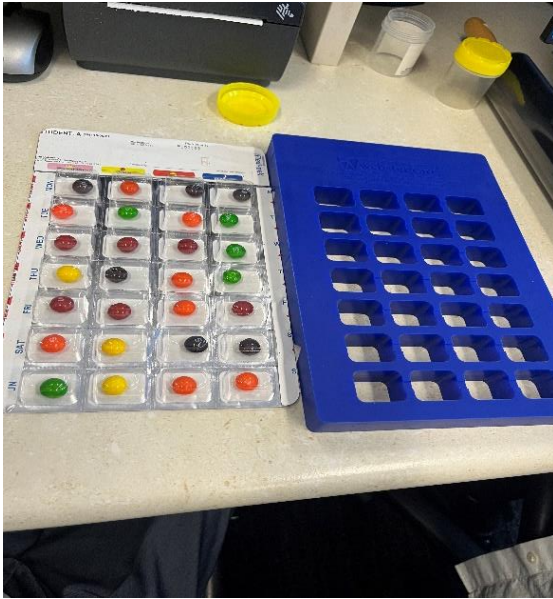
2023年3月6日から3月16日までの期間、本学の国際交流基金の助成を受けて、オーストラリアのニューサウスウェールズ州キングスクリフでの薬学・語学研修に参加しましたので、その内容について報告いたします。滞在期間中はホームステイをしながら、平日は現地研修校 TAFE(高等職業訓練専門学校)に通い、土日はホストファミリーと過ごしました。



2. 現地研修校 TAFE について

主に、午前は英語の授業で、ホームステイ先であったことについて話し合ったり、課題に対してグループで考えて発表することが多く、楽しく英会話を学ぶことができました。また、ビーチで安全に過ごすためのたくさんの標識やルールを教わったり、洋薬を用いたリスニングがとても難しかったことが印象的でした。

午後は薬学について学びました。薬学を英語で学ぶことは想像以上に難しかったです。座学だけでなく、オーストラリアのサプリメントを実際に試食させてもらうことができ、理解が深まりました。オーストラリアの大学の薬学部を訪問した際は、日本の錠剤の PTP 包装シートにお薬カレンダーを組み合わせたようなものを作る体験をしました。



3. ホームステイについて

ホストファミリーは3歳の孫がいるご夫婦で、猫がいる家庭でした。とても優しく親切で、英語が聞き取りづらいときはゆっくり話してくださり、私が話す不慣れな英語も一生懸命聞いてくださいました。朝食と夕食は毎日一緒に食べながらたくさん会話ができ、夕食後はトランプやボードゲームをして、いろいろなゲームを教えてもらいました。Fatherが獣医だったので、動物病院で薬や医療器具を見せてもらい、抗菌薬や麻酔薬で知っている名前の薬が多くありました。学校が終わった後や土日は、一緒にビーチに行ったり、動物園でコアラやカンガルーに触れたり、ショッピングをしました。日本食が好きな家族で、オーストラリアの回転寿司屋に2度連れて行ってもらいました。



4. 最後に

今まで海外に行った経験がなく、出発前は楽しみよりも不安の方が大きかったですが、実際に行ってみると一日一日がとても刺激的で約2週間という期間はとても短く、もう少し長く滞在したいと思うようになっていました。自分の英語力を知ることができ、もっと勉強して海外の人と話せるようになりたいと強く感じるきっかけになりました。今までは英語を読むことや書くことが多かったですが、聞いたり話したりすることの重要さに気づきました。また、英語だけでなく、オーストラリアの文化や考え方を知って自分の考えや視野が広がり、将来は海外で活躍したいと感じました。今回の研修で得たものは、とても貴重な財産となり、この経験を今後活かしていきたいと思います。国際交流基金の助成や支援して下さった多くの方々に感謝申し上げます。